様式第３号（第８条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
教頭	１　開会のことば これより、加須市立北川辺東小学校　第３回学校評議員会を開会いたします。 また、本会議は、加須市審議会等の会議の公開及び会議録の公表に関する要綱に基づき、会議を公開することとなっております。本日の会議の会議録については、後日、本校のホームページで公表させていただきます。
校長	２　校長あいさつ 早いもので、最後の会となりました。今年度、子供たちは、多くの体験をすることができました。10 月には相撲体験、11 月はどんぐり祭り、先日は体操教室など、多くの活動ができました。また、地域と協力して実施した綱引き大会もありました。今日は、学校評価について説明します。ご意見をいただき、次年度に生かしていきたいと思います。よろしくお願いします。
教頭	３　学校評価説明 学校評議員の皆様からは、「家庭学習」、「体力」、「地域が教育方針を理解している」の項目が低いとのご回答をいただきました。 保護者アンケートは、「あいさつ」「家庭学習の習慣化」「体力」の項目でお子様の姿からもっとがんばってほしいとの回答です。 子供たちは、「学校が楽しい」「友だちと仲よくしている」など、充実した学校生活を送っている回答が多くて安心しました。「先生に相談できる」が 6 割であったことが少し懸案材料です。 その他、教職員も自己評価を行いました。そして、保護者や児童との認識の違いなどを見つけました。また、保護者から記述で回答もいただきましたが、学校への感謝の言葉を多くいただきました。PTA 組織のことにも記述が多くありました。今後、検討を重ねてよりよい学校、よりよい PTA 組織にしていきたいと思います。
校長	４　協議（次年度に向けて） 本校のよさは、子供たちが素直で、学校が楽しいと思っていること。保護者や地域の方が協力的なところです。反対に、弱いところは、学力が若干低い点。教員も子供たちもよくやっているが、なかなか伸びません。これは、子供たちが、自分から学ぼうとする意欲が低く、知識として残らないのではないかと感じています。家庭学習の習慣がつくよう、年度当初、家庭学習のしおりを作成し配付しました。しかし、提出する子は決まっています。どんな力をつけていけばよいのか、学校評価からわかること等についてご意見をください。
荻原委員	学校の普段を見ていないので、わからない点は多いのですが、あいさつができない子が多いと感じています。交通指導員として立っていますが、半数くらいは、あいさつができません。家庭にも問題があると思いますが、あいさつのできる子になってほしいです。

中野委員	あいさつができる子、できない子が確かにいます。してくれない子には、してくれるまでしつこく声をかけていますが、前よりあいさつしない子が増えているようです。また、家庭学習は、孫をみていると宿題をやりたがりませんが、一応やってはいます。今は、親が忙しく、仕事をしながらだと宿題を見ることも難しい。父母だけだと時間が足りないかもしれません。
若林委員	あいさつは、家庭につきる。親が普段からあいさつしてくれるとよいですが。 家庭学習は、習慣でしょう。イチローもルーティンを大切にしていたのは、習慣化させるためと聞きました。スケジュール管理などを教えていくこともよいのではないでしょうか。「困っているときに相談できるか。」の項目が低いのは、先生が普段と違う面やギャップを見せてあげると相談しやすくなるかもしれません。 主体的にさせるためには、将来の夢などと関係づけて算数などの必要性を教え導いていくとよいのではと思います。
金子委員	PTA の代表、保護者の立場として申し分けなく思うことがありました。家庭学習は、学童で済ます子もいるし、時間の問題もある。家庭学習とくくると宿題はどちらに入るか迷う方もいるかもしれません。ランドセルの重さで教科書を持ち帰ってこないので、親が教えることに困るときもありました。
中野委員	確かに学童に通う子と家で過ごす子に生活の違いがあるかもしれません。今年は、学校の様子を参観させてもらい、学習の様子もわかったのでよかった。
金子委員	親として、学校の教え方と同じに教えることは、難しい面もあります。また、先生に相談は６割いれば十分であとは、親に話せればよいと思います。
若林委員	やはり、親が大切です。親と子がふれあう時間をもってほしいものです。
校長	さまざまなご意見たいへんにありがとうございました。立場で考えていく視点を大切にします。子供たちが元気に学校に来てくれることが何よりですが、将来の選択ができる力を、そして、小学校で学ぶべき力は身に付けさせたいと思います。
	５　閉会の言葉
教頭	本年一年間、ご多用の中、ご参加いただきありがとうございました。これで、第３回学校評議員会を閉会させていただきます。 １年間たいへんにありがとうございました。

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和６年２月８日

署名　教頭　菊地　健太郎

（注）特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。